

I. 平成 23 年度事業計画

(1) 研究発表会、講演会の開催（定款 5 条 1 号）

平成 23 年度は研究発表会を 2 回開催する。

春季大会

日 時 5 月 28 日（土）～29 日（日）
場 所 愛知学院大学
テーマ 「グローバルなものづくりと危機管理」
大会組織委員長 飯島正樹

秋季研究大会

日 時 11 月 12 日（土）～13 日（日）
場 所 岩手県立大学
テーマ 「クラウド時代の経営工学」
大会組織委員長 菅原光政

(2) 学会誌、その他の刊行物の発行（定款 5 条 2 号）

日本経営工学会論文誌「Journal of Japan Industrial Management Association」

Vol.62 No.1～No.6, No.3E, No.6E を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 23 年 4 月 15 日	62	1	1,800
平成 23 年 6 月 15 日	62	2	1,800
平成 23 年 8 月 15 日	62	3, 3E	1,800
平成 23 年 10 月 15 日	62	4	1,800
平成 23 年 12 月 15 日	62	5	1,800
平成 24 年 2 月 15 日	62	6, 6E	1,800

経営システム「Communications of JIMA」 Vol.21 No.1～No.6 を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 23 年 4 月 15 日	21	1	2,100
平成 23 年 6 月 15 日	21	2	2,100
平成 23 年 8 月 15 日	21	3	2,100
平成 23 年 10 月 15 日	21	4	2,100
平成 23 年 12 月 15 日	21	5	2,100
平成 24 年 2 月 15 日	21	6	2,100

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 5 条 3 号）

学会賞（学術）、学会賞（功労）、論文賞、論文奨励賞、特別賞（経営システム賞、経営工学実践賞、優秀学生賞）を選考し、理事会に推薦する。

(4) 調査、研究、見学及び視察（定款 5 条 4 号）

平成 22 年度の事業を踏襲し、引き続き支部、研究会で活動を行う。

各支部

各支部ごとに研究会・講演会・見学会等を企画し開催する。

(5) 内外の関連機関との連携及び交流（定款 5 条 5 号）

- 1) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への協力と情報発信
- 2) 経営工学関連組織（日本 IE 協会・日本技術士会等）との連携行事活動と情報発信
- 3) 本学会への協賛・共催への対応とホームページでの案内・周知
- 4) 経営工学に関連する国際会議の JIMA ホームページ

上での会員向け案内の継続

- 5) IFPR(ICPR)の情報提供促進
- 6) APIEMS の情報提供促進
- 7) 日本技術士会との CPD 活動等における連携促進

(6) その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）

特になし

II. 会議に関する事項

(1) 通常総会

平成 23 年 5 月 28 日（土）（年 1 回）開催予定。

(2) 理事会

平成 23 年 7 月、9 月、11 月、平成 24 年 1 月、3 月、5 月（年 6 回）開催予定。

(3) 各種委員会

1. 庶務委員会

年 4 回程度の委員会、および随時メール審議を開催し、以下の事項を検討及び実行する。

- 1) (公益) 社団法人日本経営工学会の規程類の整備
- 2) ホームページの改正（日本語版）、英語版の作成
- 3) 社員総会の運営

2. 研究委員会

年 4 回程度の委員会を開催し、研究部門制導入、運営、および発展を推進する。

3. 日本経営工学会論文誌編集委員会

年 11 回程度の委員会を開催し、日本経営工学会論文誌の発行を推進する。

4. 企画・行事委員会

経営工学ビジョン等策定を推進する。

5. 会員委員会

(1) HP に賛助会員のページをつくり、各企業の HP のリンクを貼る。

できればトップページのバーナーも検討する。

(2) 賛助会員向けイブニングセミナーの開催

年 2, 3 回を予定

第 1 回は 6 月頃東京で開催、西関東支部と共催

第 2 回は 11 月頃大阪で開催、関西支部と共催、関西支部主催の工場見学と同日開催

第 3 回は 3 月頃東京で開催

(3) 女性会員向けシンポジウムの開催

女性会員数名をお願いしてパネルディスカッション&懇親会。特に女性大学院生に声をかける。

「経営工学レディのキャリアプランを考える～これが私の生きる道～」

(4) 会員データベース検索システム構築

論文誌編集委員会用および支部委員会用

6. 財務委員会

- 1) 監査会
- 2) 四半期毎の伝票検査と試算表の確認
- 3) 予算案の編成
- 4) 法人化移行時における計算書類等の検討
- 5) 公益法人会計への対応

7. 調査委員会

平成 22 年度に引き続き、HP リニューアルに向けて、会員のニーズ調査と最適システム設計のための技術動向の調査を行う。

8. 大会委員会

年 4 回の委員会を開催し、春秋 2 回の研究発表会、講演会等の円滑な推進を図る。

9. 表彰委員会

年間 3 ～ 4 回の委員会を開催し、学会賞、論文賞、論文奨励賞、特別賞の各候補の推薦方法を検討し、各賞受賞候補者(案)を決定し、理事会に諮る。

10. 国際・渉外委員会

- 1) 経営工学に関連する国際会議の JIMA ホームページ上での会員向け案内の継続
- 2) 日本経営工学会に対する協賛・共催依頼への対応と国内での協賛・共催学会のホームページでの案内・周知
- 3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への積極的参画と JIMA からの情報の提供・発信
- 4) APIEMS 活性化への協力・支援、特に年次大会の周知徹底および IEMS ジャーナルへの論文投稿と定期購読体制の構築
- 5) IFPR(ICPR)および IFPR-APR の情報提供促進ならびに事業企画支援
- 6) (社)日本技術士会、IE 協会との連携活動支援策活動の継続
- 7) 経営システム誌への国際会議報告掲載

11. 人材育成委員会

学生インターンシップ事業を推進する。

12. 経営システム誌編集委員会

年間 6 冊の発行を推進する。

CiNii 等学術データベースでの論文公開事業の促進

13. 支部委員会

- 1) 委員会の開催(兼 支部長との懇談会)
- 2) 各支部の事業計画と支部に割り当てる資金・企画行事の検討
- 3) 支部長との懇談会による支部活動の活性化支援
- 4) 公益法人化に伴う支部の運営方法に関する検討

14. JIMA/JABEE 委員会

年 2 回程度の委員会の開催と FMES/JABEE からの依頼事項についての検討

15. FMES 特別委員会

- 1) FMES 代表者会議への出席
- 2) FMES 事務局の引き受けへの対応

Ⅲ. 収支予算

収入の部

支出の部

平成 23 年度予算書